



使用範囲

コンデensingユニットは下表の範囲でご使用下さい。

使用冷媒		R 22
凝縮器吸込空気温度		-5 ~ 40
吸入圧力飽和温度		-40 ~ 5
吸入圧力		0.004 ~ 0.48MPa
吸入ガス過熱度		2K 以上
吐出ガス温度		吐出管表面で 110 以下
圧縮機	電動機巻線温度	120 以下 (抵抗法)
	ハウジング底部温度	100 以下
	発停頻度	1 時間に 10 回以内 (可能な限り少なくして下さい。)
冷媒封入制限量		7.2kg 以下 (配管長 = 40m の場合)
配管長		総長 : 40m 以内, 高低差 : 7m 以内
電源電圧	電圧変動	200V ± 10%
	相間アンバランス	3 % 以内
ユニット取付姿勢		傾き 5 度以内
輸送機間搭載		自動車, 鉄道車両, 船舶は搭載不可
運転上の注意事項		(1) ポンプダウン方式による運転制御は絶対にしないで下さい。 (2) 低圧圧力スイッチの設定値 (-0.013MPa) は絶対に変更しないで下さい。 (3) 圧縮機の自力真空運転は絶対にしないで下さい。 (4) 真空状態のまま圧縮機を運転しないで下さい。 (5) エアを空気運転しないで下さい。 (6) 冷媒充填は原則として液操作弁側から行って下さい。 (7) 冷凍機油は絶対に追加しないで下さい。 (8) 圧縮機は高精度の部品から構成されているため、異物の侵入には細心の注意を払って下さい。 (9) 冷媒回路にガス漏れがないことを確認して下さい。 (10) 始動がスムーズで、振動、異常音がないことを確認して下さい。 (11) 甚だしい液バック運転、過熱運転はしないで下さい。 (12) 凝縮器は毎月 1 回程度掃除して、常にフィンはきれいにして下さい。